

# 再度公園付近詳細図

## ①「こうべ森の学校」活動地看板

2023年で活動20年目に入る森林ボランティアです。仙人谷から再度公園の森が明るいのは森の学校の皆さんのおかげ。活動に興味のある方は「こうべ森の学校」で検索してみてください。再度公園では親子連れも楽しめる「こうべ森の小学校・森のようちえん」の活動も。

## ④弘法大師修法の地

弘法大師（空海）が2回訪れたことから、「再度山（ふたたびさん）」と呼ばれています。修法ヶ原と書いて「しおがはら」と読みます。昔は「塩ヶ原」の字をあてていたこともあます。

## ②神戸外国人墓地 礼拝堂・展望台

1868年の神戸開港にあわせて居留地と外国人墓地が整備されました。当初の墓地が満員になったのち太平洋戦争などを経て1961年にこの場所に移転が完了。近代神戸黎明期の技術者や教育者など約2900名が埋葬されています。概要は礼拝堂と展望台で、詳しくはガイドが案内する一般公開に参加してご確認ください。



## ③再度山永久植生保存地の記念碑

開港と同時に人口が急増し、薪の採取などで明治中期には六甲山はハゲ山に。水源涵養や砂防対策を目的に1902年修法ヶ原池の対岸の再度山を皮切りに六甲山の緑化に着手しました。1974年からは再度山の一部を「永久植生保存地」に指定、5年ごとに森の変遷を調査・記録。これらにより、2006年には国指定名勝地、2019年には林業遺産に指定されています。



## 再度山

### ⑤再度山緑化のために築かれた石積み跡

1902年の緑化当初に斜面に築かれた石積みの跡が登り坂左手の斜面の中に見えます。

### ⑦大師道沿いの森林整備

(場所は裏面の地図を見てください)  
水源涵養や砂防目的で作られた六甲山の森は、スギ・ヒノキなど針葉樹人工林はわずか1割ほどです。大師道沿いのモミジのほか、クスノキやサクラ、ハゼノキなど様々な広葉樹が植えられました。でもほとんどが同じ時期に植えられ、今は混みあってしまいこのままでは生物多様性、景観、防災上も望ましくなくなってしまいます。好ましい変化への誘導を目的とした森林整備に取り組んでいます。

### ⑥大龍寺のスタジイ林

明治中頃には六甲山はハゲ山だった、と言いますが、大龍寺や摩耶山天上寺、保久良神社などの森は守られ、明治以前からの大木が残っています。

